

MIERUZZO SERIES MANUAL

M16ワイヤレス・コーディネータ(802.15.4)

取扱説明書

M16 WIRELESS
COORDINATOR (802.15.4) -

M16-303

この度は当社の製品をお買い上げ頂き、

誠にありがとうございます。

この製品を安全に正しくご使用頂くために、ご使用前に

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使い下さい。

この説明書は、いつでも使用できるよう大切に保管して下さい。

ご使用上の注意

- 本器を強い電磁波を出す機器の近くや静電気たたまっている物体の近くで使用しないで下さい。
- 本器を落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。
- 本器は防水形ではありませんので、水中や水のかかる場所での使用は避けて下さい。
- 本器を直射日光、ほこり、高温多湿での使用、保管をしないで下さい。
- 本器の分解、改造等を絶対に行わないで下さい。
- 本器の外装の汚れをシンナーなどの有機溶剤で拭かないようにして下さい。
- 専用電源以外の電源を使用しないで下さい。
- 本器は専用電源を必要とするため、携帯用ではありません。
- 本器やDK-5000シリーズに他の無線機器を接続したり20cm以内に設置しないで下さい。
- 本器のアンテナと他の無線機器のアンテナが干渉する可能性があります。
- 本器動作中に20cm以内に近づくと無線通信が遮断される可能性があります。



注意

取扱いを誤った場合に、取扱者が傷害を負う恐れのある場合や機器を損傷する恐れのある場合の注意事項を記載しています。

- お問い合わせは下記まで

LINE **ティン精機株式会社**

本社 〒152-0001 東京都目黒区中央町 2-37-7
TEL：03-3716-5151 FAX：03-3710-4552
E-mail support@mieruzzo.com
URL http://www.mieruzzo.com

製品概要

本器はDK-5000シリーズ(別売)のための専用のアクセサリです。

本器は無線通信機能を搭載しており、別売の子機

(本文ではどちらもエンドデバイスと呼びます)

M16-302：M16ワイヤレス・エンドデバイス

M16-602：M16センサインプットデバイス+ワイヤレス(802.15.4)

を繋いだDK-5000シリーズから本器を挿入したPCへの

ワイヤレス接続(最長30m)が可能です。

ご使用上の注意

本器+Windows PCとDK-5000シリーズとの接続にはDK側に
対となるエンドデバイス(M16-302 / M16-602)を繋いだ状態で
PCからWireless DK-5000 Mieruzzo Basic ソフトウェア
(Mieruzzo.comよりダウンロードが可能)を起動する必要があります。
対応OS：Microsoft Windows 7 / 8 / 8.1 / 10

ご使用前に

本器でワイヤレス通信を行うには、本体設定が必要です。

本器をWindows PCのUSBポートに挿して設定を行って下さい

(詳細は“本体設定”の項目を参照下さい)。

電源供給

本器はWindows PCのUSBポートからの電源供給で動作します。

USBハブ経由で複数台接続する際はUSBハブの電力容量をご確認下さい。

電源接続時に、本器はスタートアップ動作を行います。

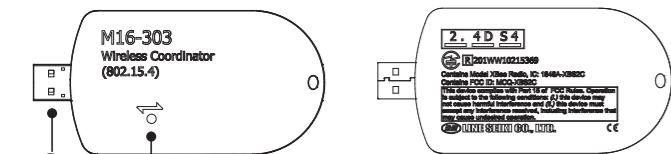
スタートアップ動作中は通信インジケータ(オレンジ →)が

5-7秒点滅します。

スタートアップ動作後、本器はアクティブモードに入ります。

詳細は“動作モード”の項を参照して下さい。

各部の名称



① USBポート

② 通信インジケータ

動作モード

本器は、Windows PCへの接続を認識すると通信インジケータ

(オレンジ →)が点灯し、アクティブモードに入ります。

(詳細は“PCとの接続”の項を参照して下さい)

本器はWindows PCのWireless DK-5000 Mieruzzo Basic ソフトウェア

からワイヤレス・エンドデバイスを検索します。

ソフトウェアはコーディネータと同じチャンネル/PAN IDの

エンドデバイスを検索します。

コーディネータがエンドデバイスとペアリングに成功すると

通信インジケータ(グリーン ←)に変化し点灯し、

ソフトウェアとの通信が確立されます。

この状態ではソフトウェア上から接続中のDK-5000

シリーズの現在データ・記録データの閲覧、設定変更等が

可能です(詳細はWireless DK-5000 Mieruzzo Basic ソフトウェアの

マニュアルを参照下さい)。

無線機器の設置 / 導入ガイドライン

無線機器の設置には、設置環境を検討することが重要です。良好な通信結果を得るために、異なる設置場所からテストを行うことが必要です。無線機器と無線LANルーターやアクセスポイントを遮蔽物のない場所に設置して下さい。障害物を避けることができない場合は、以下のガイドラインに従って下さい。

- 金属製の物や金属の壁の近くに装置を置かないで下さい。無線が遮られることがあります。
- 無線機器は床から1m以上高い位置に設置して下さい。
- 接地された表面の近くにデバイスを設置しないで下さい。
- 複数の無線機器を設置する場合は、設置エリアの中央に無線LANルーターを設置します。
- 無線機器のアンテナを垂直に立てて下さい。

上記の条件を満たさない場合、通信範囲が狭くなることがあります。

無線信号は何らかの物質によって反射・吸収された場合、信号の

品質は低下します。より良い通信結果を得るにはルーターと無線機器を見通しの良い場所に設置することです。

遮蔽物の材質	木材	ガラス	プラスチック	コンクリート	金属
信号への影響	小	小	中	大	最大

インジケータ

○ ← 通信：レッド / グリーン / オレンジ

本器は電源投入直後や初期化後、通信インジケータ(オレンジ →)が

5〜7秒間点滅します。

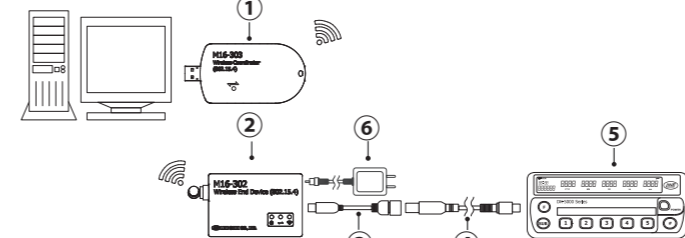
通信インジケータ	PCとの接続時
消灯	PC未接続
点滅(オレンジ)	PCを認識中
点灯(オレンジ)	PCを識別
点灯(グリーン)	Wireless DK-5000 Mieruzzo Basic ソフトウェアと接続
点滅(グリーン)	本体設定保存中
通信インジケータ	無線通信時
点滅(オレンジ)	ペアリング済みの子機を繋いだDK-5000シリーズを検索中
点灯(オレンジ)	DK-5000シリーズと接続、通信待機中
点灯(グリーン)	DK-5000シリーズからソフトウェアにデータ送信中

ご注意

- 通信インジケータがグリーンでもカウント入力が行えない場合は、DK-5000本体をカウントモードに切り替えて下さい。(DK-5000B/C/Dの場合)
- DK-5000シリーズを接続しても通信インジケータがオレンジのままグリーンに変わらない場合は、“ご使用上の注意”に記載の方法でDK-5000シリーズのバージョンを確認して下さい。

DK-5000シリーズとの接続

DK-5000シリーズに本器を接続する方法について下図を参照して下さい。



- M16-303本体
- M16-602/M16-302(別売)
- OTGケーブル(別売)
- Micro USBケーブル(別売)
- DK-5000シリーズ(別売)
- 専用電源AC/DCアダプタ(別売)

本器を挿したPCとエンドデバイスを接続したDK-5000シリーズとの無線通信による接続は、Wireless DK-5000 Mieruzzo Basic ソフトウェアを使用して行います。

ソフトウェアの操作方法はソフトウェアのマニュアルを参照して下さい。ソフトウェアを使用すると、接続したDK-5000シリーズのデータをPC側から閲覧・保存および削除が可能です。

またソフトウェア上では、DK-5000シリーズに表示されているデータをリアルタイムで表示することができます。

無線通信(2.4GHz帯)はIEEE802.15.4プロトコルを使用します。

本器は複数のエンドデバイスと同時に接続することはできません。

本体設定

● PCとの接続

本器をWindows PCに接続する前にWireless DK-5000 Mieruzzo ソフトウェアをインストールして下さい。

ソフトウェアをインストールすると本器のドライバも同時に

インストールされます。

インストール後、Windows PCのUSBポートに本器を挿入して下さい。

● セットアップ

本器を初めてご使用になる場合、本体設定が必要です。

設定した内容は記憶されるため電源を切っても再設定は不要です。

本体設定にはWireless DK-5000 Mieruzzo ソフトウェアが必要です。

ソフトウェアマニュアルを参照して本器の設定を行って下さい。

ソフトウェアから次のパラメータが本器に設定されます。

本体設定の反映には本器の再起動が必要になります。

本器をPCから取り外し、一度本器の電源を落として

再度接続して下さい。

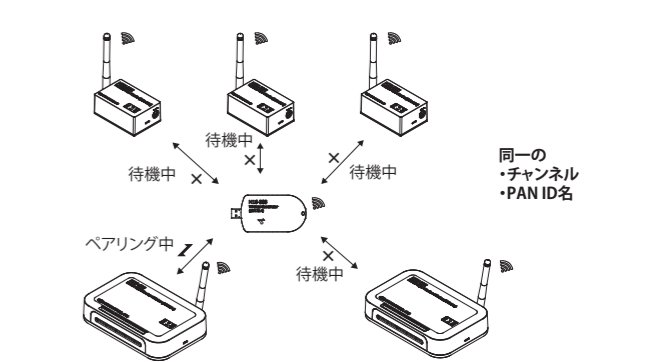
チャンネル:11~26
エンドデバイスと通信するチャンネルの設定を11~26の値から選びます
PAN ID:16進数(8桁)
エンドデバイスと通信するID名を0~9の数字とA~Fの英字から8文字以内で設定します(例:9_123456,1A2B3C4D等 ※ご注意:0のみは選べません)
デバイスの名前:任意(20桁)
ソフトウェア上で検出された時の本器の名称を半角英数最大20文字で任意の名前を入力できます

● 本器のMACアドレス確認方法

本器のMACアドレスはWindows PCから[デバイスマネージャー]で確認できます。

- デバイスマネージャを開きます
(Windows PCの[コントロールパネル]-[デバイスマネージャー])
- [ポート(COMとLPT)]で[Mieruzzo Series Wireless/Sensor Device]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします
- [詳細]タブをクリックします
- プロパティリストの[デバイスインスタンスパス]を選択します
- 右端の数字12桁が本器のMACアドレスです

本器の無線通信について



本器は設定されたチャンネルとPAN IDとデバイスの名前を使用してエンドデバイスとペアリングします。

Wireless DK-5000 Mieruzzo Basic ソフトウェア上では本器と同じチャンネルとPAN IDを持つエンドデバイスが最大14台まで検出されます。本器が1度にペアリングできるエンドデバイスは1台のみです。

別のエンドデバイスと接続するにはソフトウェア上から“切断”をクリックしてペアリングを解除する必要があります。

仕様

形式	M16-303
通信(無線)	IEEE802.15.4
無線通信距離	30m(見通しの良い直線において)
周波数帯	2.4GHz
チャンネル数	16
変調方式	DS-SS 方式
電源供給	USB 5V (消費電流 約55mA)
使用湿度範囲	35 - 85%RH (但し、結露しないこと)
使用温度範囲	0 - 50°C (但し、氷結しないこと)
保存温度範囲	-10 - +60°C (但し、氷結しないこと)
寸法 / 重量	97(L) x 48(W) x 16(H) mm / 約35g
付属品	取扱説明書 x 1
適合規格	CE, RoHS, ARIB

無線機器のご使用上の注意

本製品は、2.4GHz帯域の電波を使用しています。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される移動体識別装置用の構内無線局、特定小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」)が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認して下さい。
- 万一、本製品使用中に「他の無線局」に対して電波の干渉が発生した時は、速やかに周波数を変更するか、使用場所を変えるか、または使用を中止して下さい。
- その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、弊社連絡先までお問い合わせ下さい。

● 製品に記載されている下記のマークは以下を表します。

	「2.4」:2.4GHz帯を使用する無線設備を表します。 「DS」:DS-SS方式を表します。 「4」:想定される干渉距離が40m以下を表します。 「■■■■」:全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを表します。
--	--

本製品は日本、アメリカ合衆国、カナダ、EUの電波法に準拠しています。日本、アメリカ合衆国、カナダ、EU加盟国以外の国や地域でお使いいただけません。国や地域ごとの無線機器に対する法令等に違反すると罰せられることがあります。